２０２５年度

埼　玉　県　立　大　学

専門職連携を学ぶ講座

募　集　要　項

２０２５年　３月２５日　発行

個々の講座において、修了要件を満たした方に修了書を発行します。

さらに、「専門職連携を学ぶ講座」の複数の講座を受講し、合計 60 時間以上の講座を修了した方には、文部科学省が認定する「履修証明プログラム」としての履修証明書を発行します。

※詳細は、募集要項３ページをご確認ください。

Ⅰ．2025年度「専門職連携を学ぶ講座」開催スケジュールについて

講座名	チームビルディング研修	募集人数	１５名	開催方法	対面
申込期間	開講日時			受講料	
当初：～4月２１日（月） 追加：～5月　１日（木）	５月１１日（日）　９：00～16：00			３，０００円	

講座名	チームワーク研修	募集人数	１５名	開催方法	対面
申込期間	開講日時			受講料	
当初：～5月　７日（水） 追加：～5月１９日（月）	５月２５日（日）　９：00～16：00			３，０００円	

講座名	ファシリテータ研修	募集人数	２０名	開催方法	対面
申込期間	開講日時			受講料	
当初：～5月１９日（月） 追加：～6月　２日（月）	６月　７日（土）　９：30～16：30 ６月２８日（土）　９：30～16：30 ７月１２日（土）　９：30～16：30			９，０００円	

講座名	IPW を促進する F-SOAIP 研修	募集人数	３０名	開催方法	オンライン
申込期間	開講日時			受講料	
当初：～6月　２日（月） 追加：～6月１３日（金）	６月２０日（金）10：00～17：00 ８月　７日（木）10：00～17：00 ９月２６日（金）10：00～17：00			９，０００円	

講座名	多職種チームによる実地実習 （専門職連携実習：ＩＰW実習）	募集人数	２０名	開催方法	オンライン
申込期間	開講日時			受講料	
当初：～8月２５日（月） 追加：～9月　８日（月）	９月１３日（土）　９：00～１７：00			３，０００円	

講座名	多職種チームによる事例検討	募集人数	５名	開催方法	対面
申込期間	開講日時			受講料	
当初：～9月　８日（月） 追加：～9月１９日（金）	９月２７日（土）10：00～17：00 １０月１８日（土）10：00～17：00			６，０００円	

※各講座の最少催行人数は５名です。当初申込期間にこの人数に達しない場合・申し込み後多数のキャンセルが出て最少催行人数を大きくした回った場合は不開催とさせていただくことがあります。当初申込期間に「各講座の５名以上の申込があり、募集人数に満たない場合」には追加申込期間を設けることがあります。

※天候や社会情勢等を踏まえて、開催方法を変更する場合があります。

～専門職連携と多職種連携～

埼玉県立大学は、全国に先駆けて IPE（Interprofessional Education）に取り組んできました。本学は、IPW（Interprofessional Work）を日本で初めて翻訳し、「専門職連携」としました。今回は学外の方を対象とした講座名称等として、現場で多く使用されている「多職種連携」を使用しています。

2．受講対象者：

各講座の全日程を受講できる方で、以下に該当する方

●専門職連携について学びたい方

●専門職としてのキャリアアップや新たな知見の習得、IPW の実践を目指す社会人の方

・受講者の職種や勤務年数など問いません。

・７ページ以降の各講座のシラバスをご確認のうえ、お申込みください。

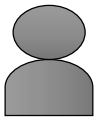
※履修証明書の取得を目指す方は、交付要件がありますので、４ページをご確認ください。

3．受講料について

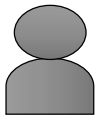
「専門職連携を学ぶ講座」は、多職種連携に必要な知識・技能の修得の他、受講者同士のグループワークなどを通し、多職種連携の実践を行う講座です。このため、多くの職種の方にバランスよくご参加いただきたく、『勧誘奨励制度』を設けています。

具体的には、申込いただいた方の主たる職種と異なる職種の方をお誘いいただき申し込まれた場合に、誘い合わせた（誘った、誘われた）両受講者の受講料を１日につき 1,000 円減額する制度です。勤務先が同じである必要はありませんので、ご友人やお知り合いでの活用も歓迎します。本制度の活用で、多くの異なる職種の方が講座に参加され、より実践的な多職種連携の学修が進むことを期待しています。

例①　１日の講座を異なる職種２名で申し込んだ場合

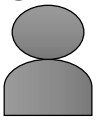


A さん：
3,000 円 ⇒ 2,000 円

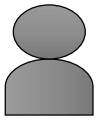


B さん：
3,000 円 ⇒ 2,000 円

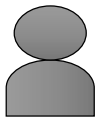
例②　３日の講座を３名（同一職種２名、異なる職種１名）で申し込んだ場合



A さん：
9,000 円 ⇒ 6,000 円



B さん
9,000 円 ⇒ 6,000 円



C さん：
9,000 円 ⇒ 6,000 円

※異なる職種を２名以上誘った場合も、減額は１日につき 1,000 円までです。
※申込時点で、誘った方、誘われた方のお名前を伺います。申込いただいた情報について、事務局から確認をさせていただく場合があります。

4．開催方法及び開催場所：

◎対面開催の講座：

会場：埼玉県立大学

所在地：〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地

アクセス：東武スカイツリーライン「せんげん台駅」西口からバス５分（徒歩 20 分）

◎オンライン開催の講座：

Zoom と Google スライドを使用して実施します。基本的な操作方法などは、各自でご確認ください。

また、研修当日は一人１台使用できるパソコンをご用意ください（zoom と Google スライドを同時に使用するため、原則スマートフォン、タブレットでの受講不可）。

なお、受講にかかる通信費は受講者負担となります。

※　受講方法や会場の詳細は、受講者に別途通知します。

５．申込方法

各講座の申込期間に、埼玉県立大学のホームページにあるWEBフォームより、お申込みください。

なお、都合により申込をキャンセルする場合には、速やかに本学へご連絡ください。

専門職連携を学ぶ講座ホームページ

埼玉県立大学　専門職連携を学ぶ講座　検索

講座案内メーリングリストへの登録

本履修証明プログラムの各講座を含めて、本学で開催される専門職向けの各種講座情報等のお知らせや申込期間をタイムリーにダイレクトメールでお届けするメーリングリストを作成しています。希望される方は、是非ご登録ください。

お申込み時に登録された個人情報は、埼玉県立大学の「個人情報の取り扱い（プライバシーポリシー）」に基づき、本学からのお知らせにのみ使用します。

メーリングリスト登録フォーム

６．受講決定

当初申込期間は、締切後に抽選を行い、申込いただいた全員に受講の可否についてご連絡いたします。追加申込期間は、先着順で申込を受け付けます。申込時に記載いただいたメールアドレス宛に通知をしますので「@spu.ac.jp」のメールを受信できるように設定してください。

受講日３日前までに、受講に関する通知が届かない場合には、お手数ですが本学までお問い合わせください。

専門職連携を学ぶ講座は、多職種の方にご参加いただくことを前提としておりますので、募集人数内であっても職種に偏りがある場合には、職種による受講人数の調整をさせていただく場合があります。

７．受講料振込

受講決定通知に記載する振込先に、受講する講座の受講料をお振込みください。振込期限も受講決定通知に記載されています。

所定の期間内に振込が確認できない場合には、受講をお断りする場合があります。また、受講料振込後、受講者の都合による返金には応じませんので、予めご了承ください。

８．事前準備、持ち物など

本学で実施する講座については、昼食をご持参ください。学生食堂は営業しておりません。

また、事前準備は７ページ以降のシラバスをください。この他、事前準備・持ち物等がある場合には、メールでお知らせします。

９．修了証の発行

各講座の修了要件を満たした方に対して、修了証を発行します。

なお、専門職連携を学ぶ講座の各講座は、「主任介護専門員更新研修（埼玉県）の法定外研修」および「日本作業療法士協会 生涯教育制度」の単位やポイントとなります（※）。単位やポイントの付与に必要な修了証は、通常の修了証と様式が異なるため、希望の有無、発行に必要な情報を別途伺います。

※各団体の制度変更等により、対象外となる場合があります。ご不明な場合は、各講座のお申込み前に、改めてホームページで最新情報をご確認ください。

１０．履修証明プログラム

埼玉県立大学が実施する「専門職連携を学ぶ講座」は、履修証明プログラム(*1)として文部科学省に認定されています。

下記の交付要件を満たす方に履修証明書を発行いたしますので、希望される方は５ページの申請方法をご確認のうえ、必要書類をご提出ください。

履修証明書　交付要件

① 「専門職連携を学ぶ講座」の異なる講座を複数受講し、合計時間数 60 時間以上を修了した方
（時間数は、【実施時間 45 分、自己学習時間 15 分】を 1 時間として計算しています。）
② 埼玉県立大学学則第５４条(*2)に定める入学資格を満たす方

*1 履修証明プログラムとは、学校教育法第 105 条及び学校教育法施行規則第 164 条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書を交付するものです。なお、学位が授与されるものではありません。

*2 第５４条　本学学部に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
一　高等学校又は中等教育学校を卒業した者
二　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者
三　外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
四　文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
五　文部科学大臣の指定した者
六　高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
七　その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注．埼玉県立大学学則は、2025年１月現在のものです。上記に該当しない場合には、「埼玉県立大学専門職連携を学ぶ講座　事務局」までご相談ください。

履修証明書　申請方法

６ページの【履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」履修証明書交付申請書】に必要事項を記載し、提出書類２点を下記提出先まで郵送にてご提出ください。提出後１か月を目途に、履修証明書を交付いたします。

提出書類：①履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」履修証明書交付申請書
②下記（１）（２）いずれか履修証明書交付要件を確認できる書類

（１）履修証明書交付要件「１．高等学校等の卒業」または「２．高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定　合格」の場合
・高等学校の卒業証明書、高等学校卒業程度認定試験合格証　など

（２）履修証明書交付要件「３．その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」
・３年以上の職務経験を証明する書類（在職証明書など）
※職業、職種、雇用形態は問いません

提出先：〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地
埼玉県立大学　専門職連携教育研修センター　事務局

封筒に「履修証明書交付申請書」と朱書きしてください。

提出期間：履修時間が合計 60 時間以上に達した後、随時
※ただし、2025年１１月末日までにご提出ください。

履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」について

プログラムの目的及び内容

１）目的
患者･利用者中心のヒューマンケアマインドに基づいて、患者･利用者と共に質の高いケアに向けた専門職連携実践（IPW）及び専門職連携教育（IPE）を円滑に推進できる保健・医療・福祉実践現場の人材育成に寄与する。

２）内容（編成方針等）
IPW/IPE に関連する理論を背景にチームビルディング、ファシリテーション、生活支援記録法の知識、技術、それらを応用した IPW 事例検討、IPW 実地実習における実践的能力について、段階的または自己研鑽・強化したい内容を選択して IPW/IPE に必要な基礎・実践的能力を学修する。

３）修了後に身に付く能力
患者･利用者中心のヒューマンケアマインドに基づいて、患者･利用者とともに質の高いケアに向けた IPW/IPE を円滑に推進できる基礎知識･技術及び、実践的能力を身に付ける。

４）履修証明を行う社会的な意義
近年、日本の急速な少子高齢化、人口減少、家族形態（世帯）の変化、地域支え合いの衰退等は、経済・社会の存続の危機に直結し、現代社会で暮らす人々の生活に深刻な「生活のしづらさ」を増幅させている。人々の健康的な生活を支える保健・医療・福祉等の多様な背景をもつ専門職者が、お互いの専門性の違いを認めあい、対等な関係を築こうとしながら、目標を共有し、共に力を合わせて活動できる IPW/IPE 能力の醸成は、患者･利用者への質の高いケアを提供するために必要不可欠なものとして求められている。

※本プログラムを修了することによる単位の授与はありません。

履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」履修証明書交付申請書

フリガナ:
氏　名 : 生年月日 : 西暦　　年　　月　　日生　（年齢 :　　歳※申請日現在）
住所 〒　　－ 都・道 府・県
電話番号:　　（　　）　　携帯電話 :　　（　　）
e-mail:

専門職連携を学ぶ講座　受講履歴		
２０２５年度 科　目　名	時間数	受講科目にチェック
チームビルディング研修	８	□
チームワーク研修	８	□
ファシリテータ研修	２４	□
IPW を促進する F-SOAIP 研修	２４	□
多職種チームによる実地実習（専門職連携実習 : IPW 実習）	１０	□
多職種チームによる事例検討	１６	□
受講合計時間数 （合計 60 時間以上）	合計　　時間	

履修証明書　交付要件　※該当する要件に○、必要事項記載
１．高等学校等の卒業 （　　）　高等学校・中等教育学校　　年　　月卒業 ２．高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定　合格 ３．その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

職歴 ※履修証明書交付要件３に該当する方のみ、直近のものから 3 年以上の職歴を記載	
期間	勤務先　名称
～	
～	
～	

専門職連携を学ぶ講座　シラバス

<table>
<tr><td>講座名</td><td>チームビルディング研修</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>〇善生まり子、山本英子、井上和久、吉村基宜</td></tr>
<tr><td>開講日時</td><td>５月１１日（日）９：00～16：00</td></tr>
<tr><td>総時間数</td><td>研修時間数：６時間　履修証明プログラムにおける時間数：８時間＊
＊１時間＝４５分間（実質の受講時間）＋１５分間（自己学習）</td></tr>
<tr><td>講座概要</td><td>職場では、目標達成のために個々人のもつ能力を発揮し、より高い臨床実践を目指して、チームで成果をあげることが求められています。本研修は、以下を目的とします。
保健医療福祉など様々な人材が集う職場において、専門職連携のもとで互いに尊重しながらチームとして機能するために、ヒューマンケアおよびチームビルディングの考え方の基礎を学び、チームの活性化に必要なコミュニケーションスキルを習得できる。
〔キーワード〕
チームビルディング、ヒューマンケア、コミュニケーション</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td>・チームビルディングの基本を学び、職場で活用できるコミュニケーションスキルを習得できる。
・様々な演習を通して、より高いヒューマンケアを目指しコミュニケーションとチームワークの重要性を再認識し、安心と信頼を築く職場、組織づくりの足がかりができる。
・専門職連携におけるチームビルディングの基礎を学び、職場でのコミュニケーションの現状を振り返り、コミュニケーションの重要性について共通認識を高める。
・チームの活性化にむけて、日常業務で取り組めるコミュニケーションが実践できる。</td></tr>
<tr><td>講義内容
及び方法</td><td>
<table>
<tr><td>講座内容（対面開催）</td><td>講座方法</td></tr>
<tr><td>◆オリエンテーション

１．講義
・コミュニケーションの基礎
・専門職連携が求められる背景と基礎力
多職種で連携するポイント（チーム活動）
・チームの力を発揮したヒューマンケア
・チームビルディング理論 タックマンモデル
・日常業務に使えるチームビルディングを円滑にするコミュニケーション

２，演習
・チームで自己紹介する
・研修受講者でチームをつくり受講目的を共有する
・職場（チーム）でのコミュニケーションのとり方を振り返る
・円滑なコミュニケーションに関するロールプレイを行う

３．全体リフレクション
・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振りかえる
・個々人の研修での学びを全体で共有する

◆修了式
◆受講アンケート</td><td>・講義
・演習
・リフレクション</td></tr>
</table>
＜事前課題＞
ワークシート「職場（チーム）における個々のコミュニケーションの振り返り」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座名</td><td>チームワーク研修</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>〇善生まり子、押野修司、柴田貴美子、原明子、阿部真純</td></tr>
<tr><td>開講日時</td><td>5月25日（日）9：00～16：00</td></tr>
<tr><td>総時間数</td><td>研修時間数：6時間　履修証明プログラムにおける時間数：8時間＊
＊1時間＝45分間（実質の受講時間）＋15分間（自己学習）</td></tr>
<tr><td>講座概要</td><td>職場では、目標達成のために個々人のもつ能力を発揮し、より高い臨床実践を目指して、チームで成果をあげることが求められています。本研修は、以下を目的とします。
職場チームを振り返るとともに、研修でチームをつくり、目標達成のためのチームワークをとおして、互いに語り合い、互いから学び合いながら、自身とチームを俯瞰する力（リフレクション）を身に付け、組織づくりの足がかりとなる力を養う。
〔キーワード〕
チームワーク、組織、リフレクション</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td>・職場のチームワークの向上にむけて、自身とチームを俯瞰する力（リフレクション）を養える。
・様々な演習を通して、より高いヒューマンケアを目指しコミュニケーションとチームワークの重要性を再認識し、安心と信頼を築く職場、組織づくりの足がかりができる。
・職場での自身のチームへの関わりの現状を振り返り、特性を再認識できる。
・どのようなことがチームの成果をあげる推進ポイントとなるのかを理解できる。
・研修チームにおいて、目標達成を目指したチームワークについて実践できる。</td></tr>
<tr><td>講義内容及び方法</td><td>
<table>
<tr><th>講座内容（対面開催）</th><th>講座方法</th></tr>
<tr><td>◆オリエンテーション

1．講義
・専門職連携におけるチームワークとは
・リーダーシップとメンバーシップとは
・目標達成を目指したチームワークとは
・専門職連携におけるリフレクションの意義

2．演習
・チームで自己紹介
・職場のチームワークにおける自身の関わりの振り返りを共有する
・ゲームを通してチームワークを体験し、その体験を通してリーダーシップ、メンバーシップについて振り返り、可視化できる

3．全体リフレクション
・チームにおける各演習成果を発表し、全体で共有し振りかえる
・個々人の研修での学びを全体で共有する

◆修了式
◆受講アンケート</td><td>・講義
・演習
・リフレクション</td></tr>
</table>
＜事前課題＞
ワークシート「職場のチームワークにおける自身の関わりの振り返り」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座名</td><td>ファシリテータ研修</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>〇小川孔美、國澤尚子、柴田貴美子、岡田茂治</td></tr>
<tr><td>開講日時</td><td>６月　７日（土）（１日目）９：３０～１６：３０　（講義・演習：対面）
６月 28 日（土）（２日目）９：３０～１６：３０　（講義・演習：対面）
７月 12 日（土）（３日目）９：３０～１６：３０　（実践演習：対面）</td></tr>
<tr><td>総時間数</td><td>研修時間数：１８時間（６時間×３日間）　履修証明プログラムにおける時間数：２４時間＊
＊１時間＝４５分間（実質の受講時間）＋１５分間（自己学習）</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td>・多様な意見や価値観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて講義と演習を通して学ぶ
・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td>（１）IPW におけるファシリテーションの意義を理解できる
（２）ファシリテータの役割について理解できる
（３）効果的なファシリテーションスキルを確認する。
（４）演習（グループワーク＆ロールプレイ）を通してファシリテーション実践の理解を深める。</td></tr>
<tr><td>講義内容
及び方法</td><td>
<table>
<tr><th>開講日</th><th>講義内容</th><th>講義方法</th></tr>
<tr><td>第１回
６月 ７日（土）
※対面
（埼玉県立大学）</td><td>・オリエンテーション
・ファシリテーションが必要とされる機会
・IPW のチームとは
・ファシリテータ総論
・ファシリテーションの役割
・合意形成のステップ</td><td>講義・演習</td></tr>
<tr><td>第２回
６月２８日（土）
※対面
（埼玉県立大学）</td><td>・ファシリテータ各論
・ファシリテーションコアスキル
・論点と意見の仕分け
・問いのスキルを磨こう
・議論のノイズになる参加者への対応</td><td>講義・演習</td></tr>
<tr><td>第３回
７月 20 日（土）
※対面
（埼玉県立大学）</td><td>・ファシリテータ実践
グループ演習及びリフレクション
（個人、グループ）</td><td>演習実践</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座名</td><td>IPW を促進する F-SOAIP 研修</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>〇嶌末　憲子、小嶋　章吾（国際医療福祉大学大学院　特任教授）
※受講者の領域等によりゲスト数名：３回目</td></tr>
<tr><td>開講日時</td><td>１回目：６月 20 日(金) 10：00～17：00
２回目：８月７日(木)　10：00～17：00
３回目：９月 26 日(金) 10：00～17：00</td></tr>
<tr><td>総時間数</td><td>研修時間数：１８時間（６時間×３日間）　履修証明プログラムにおける時間数：２４時間＊
＊１時間＝４５分間（実質の受講時間）＋１５分間（自己学習）</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td>※3 回とも講義および演習ワーク（個人・グループ）を実施する
・F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ
・F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～
・先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容や DX を展望する
※ゲスト：受講者の目標や職種をふまえ、多機関多職種へ依頼
※3 回分の出席と課題提出により、本講座を修了となります。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td>・F-SOAIP の講義や書換えワーク、伝達研修などを通じ、IPW の実践変容による好循環や諸課題解決に向けた DX を展望できるようにする。
・F-SOAIP の普及・導入を推進できるリーダーに求められる役割を理解する。</td></tr>
<tr><td>講義内容
及び方法</td><td>
<table>
<tr><th>開講日</th><th>講義内容</th><th>講義方法</th></tr>
<tr><td>６月 20 日(金)
※オンライン</td><td>『F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ』
・F-SOAIP の概要（定義・DX 等の政策）
・ＰＤＣＡサイクルにおける実施段階の経過記録と IPW・諸課題との関連
・IPW を可視化する F-SOAIP の理解
・F-SOAIP の書換：ＩＰＷに役立つ場面
・新たな挑戦を意味づけるリフレクション</td><td>※F-SOAIP ワークシート【初回版】提出
→当日提出できなかったシート等は、６／29 までに提出</td></tr>
<tr><td>８月７日(木)
※オンライン</td><td>『F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～』
・第１回リフレクションや課題等を共有
・講義（F-SOAIP の応用版（カンファレンスや事例検討、LIFE のフィードバック活用・分析、OJT、BCP 等）、特徴的場面（苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、認知症 BPSD、看取り等）、F-SOAIP アプローチ
・ＩＰＷに着目したリフレクション</td><td>※７／２７までに F-SOAIP ワークシート【導入版】を提出

※当日提出できなかったリフレクションは、８／１７までに提出</td></tr>
<tr><td>９月 26 日(金)
※オンライン</td><td>『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容やや DX を展望する』
・第２回リフレクションや課題等を共有
◆ゲスト数名による実践報告・交流
・F-SOAIP 好循環モデルの作成・共有
・ＩＰＷの好循環に向けたリフレクション</td><td>※どちらかを事前提出
F-SOAIP ワークシート【OJT 版】（９／１４まで）
IPW･F-SOAIP 実践シート（９／２１まで）
※当日提出できなかったシート等は、10／５までに提出</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事前学習・
準備等</td><td>・受講前に F-SOAIP の HP（https://seikatsu.care/）より、F-SOAIP のリーダー研修受講者等による専門雑誌での実践報告テーマや動画等をご確認ください。

・受講者には、第 1 回目に使用する F-SOAIP ワークシート【初回版】を配信しますので、所定の欄に、F-SOAIP へ書き換えたい場面を入力しておいてください。

・Zoom と Google スライドを使用して実施します。基本的な操作方法（Zoom：チャットへの入力、名前変更、ブレイクアウトルーム内への移動、画面共有／Google スライド：表や付箋への入力）などは、各自で実施できるようご準備ください。

・研修当日は一人１台使用できるパソコンをご用意ください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>講座名</td><td>多職種チームによる実地実習（専門職連携実習：IPW 実習）</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>〇田口孝行、〇丸山優、岡田茂治、押野修司、髙橋恵子、山岸直子、吉村基宜、保科寧子、柴﨑智美(埼玉医大)、内海巨史（介護老人保健施設エスポワール秩父)、酒本隆敬（特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館）</td></tr>
<tr><td>開講日時</td><td>９月 13 日(土)　９：00～17：00（講座・実地実習・リフレクション）
※事前動画視聴あり</td></tr>
<tr><td>総時間数</td><td>研修時間数：約 7．５時間（事前動画視聴時間含む）
履修証明プログラムにおける時間数：１０時間＊
＊１時間＝４５分間（実質の受講時間）＋１５分間（自己学習）</td></tr>
<tr><td>講座概要</td><td>実地実習（実際の利用者様の協力：オンライン）を通して、利用者中心の統合されたケアを創造するための、「チームによる利用者の問題解決プロセス」および「チーム形成プロセス」に意図的に目を向け、専門職連携（IPW）の課題やあり方を考える。また、各所属施設でのより良い IPW に向けた課題や解決策についても考える。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td>⑴利用者の理解と課題解決の実践方法を意図的に確認する
⑵チームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を意図的に確認する
⑶チーム形成プロセスと協働の実践方法を意図的に確認する
⑷自己課題、チーム課題、地域連携課題等を見出すリフレクションができる</td></tr>
<tr><td>講義内容
及び方法</td><td>
<table>
<tr><th>開講日</th><th>講座内容</th><th>講座方法</th></tr>
<tr><td>事前動画視聴</td><td>1）下記の動画を研修日までに視聴する。
・「IPW/IPE･リフレクションについて」
・「IPW におけるチーム形成と活動」</td><td>動画の配信</td></tr>
<tr><td>９月 13 日(土)
※オンライン</td><td>2) IPW 実習のオリエンテーション（9:00～）
・目的･目標･方法･チームメンバー
3) チーム活動（9:30～10:00）
・アイスブレイク（自己紹介）
・対象者（実際の利用者）の情報共有
4）IPW 実習（10:00～15:00）
・インタビューによる情報収集と共有
・支援方針･計画（案）のディスカッション
・発表会に備えた発表内容･資料の整理
5)チーム発表とディスカッション
（15:00～16:00）
6)リフレクション（16:00～17:00）
・自己･チーム･専門職としての課題の明確化
・受講者の各所属施設における IPW の課題</td><td>講座

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ

発表会

ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ</td></tr>
</table>
Zoom を使用して実施します。基本的な操作方法などは、各自でご確認ください。
併せて、Google スライドを活用します。基本的操作で十分ですが、分からなければ研修前週（９月１日～5 日）に説明します（申込み時にお聞きし、個別対応します）。
研修当日は一人１台使用できるパソコンをご用意ください。（タブレット不可）
受講にかかる通信費は受講者負担となります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>個別講座名</td><td>多職種チームによる事例検討</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td>〇井上和久、國澤尚子、善生まり子、押野修司</td></tr>
<tr><td>開講日時</td><td>１回目：2025 年９月　27 日(土)　10：00～17：00
２回目：2025 年 10 月 18 日(土)　10：00～17：00</td></tr>
<tr><td>総時間数</td><td>研修時間数：１２時間（６時間×２日間）　履修証明プログラムにおける時間数：16 時間＊
＊１時間＝４５分間（実質の受講時間）＋１５分間（自己学習）</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td>模擬事例について、チームで検討し連携における課題の明確化、解決方法の模索などを行います。また、受講者が経験した自施設の事例(一部)についてもチームで同様に実施します。この検討プロセスを通して、チームでのディスカッションを体験します。また、チームで検討した内容およびプロセスを発表し合い、多職種チームによる事例検討の理解を深めます。
受講者５名１グループを編成し、受講者の事例について、多職種の課題を明確化し、課題解決方法について検討します。
1．模擬事例等の連携における課題の明確化　　2．課題解決方法の検討
3．プレゼン資料の作成　　4．発表　　5．リフレクション</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td>1．多職種チームで事例を可視化できる
2．チーム活動をリフレクションすることによりチーム形成のプロセスが理解できる
3．多職種連携における課題を検討できる</td></tr>
<tr><td>講義内容
及び方法</td><td>
<table>
<tr><th>開講日</th><th>講義内容</th></tr>
<tr><td>９月 27 日(土)
※対面
（埼玉県立大学）</td><td>1．オリエンテーション
2．アイスブレイク
3．IPW の基礎(講義)
4．IPW におけるリフレクション(講義)
5．コミュニケーションスキルと時間管理について(講義)
6．馬介在療法におけるチームワーク(講義)
7．模擬事例について検討
1）連携における課題の明確化　　2）課題解決策の検討
3）プレゼン資料の作成・発表　4）リフレクション</td></tr>
<tr><td>10 月 18 日(土)
※対面
（埼玉県立大学）</td><td>1．事例について検討（1）
1）各事例について検討する事例の選定
2．事例について検討（2）
1）連携における課題の明確化　　2）課題解決策の検討
3）プレゼン資料の作成・発表　　4）リフレクション
3．事例について検討（3）
1）連携における課題の明確化　　2）課題解決策の検討
3）プレゼン資料の作成・発表　　4）リフレクション
4．発表
5．IPW の課題と影響を与える要因(講義)</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

「専門職連携を学ぶ講座」に関するお問い合わせ

埼玉県立大学　専門職連携教育研修センター
〒343-8540　埼玉県越谷市三野宮 820
ＴＥＬ：048-973-4114　ＦＡＸ：048-973-4807
e-mail：ipe-kenshu@spu.ac.jp
ホームページ：http://www.spu.ac.jp